



「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
推進校実施報告書

- 1 学校名：埼玉県立児玉高等学校
- 2 実施日時：2018（平成30）年11月2日（金）9：40-10：25、10：40-11：25
- 3 対象：児童30名×2クラス（4年生）
- 4 会場：本庄市立児玉小学校
- 5 授業内容：交流事業

2018（平成30）年11月2日（金）に、本庄市立児玉小学校にて、埼玉県立児玉高等学校の生徒12名と本庄市立児玉小学校の児童60名（4年生2クラス）による交流事業が行われました。交流事業は、児玉高等学校の生徒が児玉小学校に出向き、体育の授業のサポートを行う形で行われました。授業の内容はゴール型（サッカー）でした。

元々、児玉小学校や児玉高等学校がある地区は、地元のスポーツ少年団や児玉高校のサッカー部やバスケットボール部が全国大会に出場するなど、スポーツが盛んな地域です。また、地域の方々のつながりも強く、参加した高校生の中には、児玉小学校出身の生徒や、兄弟が児玉小学校に通っている生徒もいました。そのため、児玉小学校の児童にとっては、身近な憧れの先輩がサッカーを教えてくれるということで、交流事業をとっても楽しみにしていたそうです。また、交流事業に向けては、小学校の担当者と高校の担当者が打合せを行い、高校生には事前に授業の内容とサポートしてほしいポイントが伝えられていました。

授業は、始まりの挨拶、準備体操、パス練習、シュート練習、ゲーム（作戦タイム）、終わりの挨拶の流れで展開されました。

始まりの挨拶の後、準備体操を行い、児童は6つのグループに分けられました。そして、それぞれのグループに、2人ずつ高校生が入りサポートを行いました。

最初のパス練習では、なかなかボールが真っ直ぐ飛ばない小学生に対して、高校生がボールを足のどこで蹴ったら真っ直ぐ飛ぶかを指導している姿が見られました。また、高校生がお手本を見せると、小学生から歓声があがっていました。次に行ったシュート練習では、高校生がゴールキーパーとパスを出す役割をしていました。小学生がシュートしたボールがゴールに決まると、高校生は「ナイスシュート」と声をかけており、小学生はとても喜んでいる様子でした。また、なかなかシュートしたボールがゴールに飛ばない小学生に対しては、パス練習のときと同様に、強いシュートを打つためのコツを指導していました。

さらに、小学生と高校生の混合チームによるゲームの場面では、小学生が一生懸命ボールをゴールに運ぼうとするのを後ろからサポートしたり、小学生がシュートを打ちやすいパスを出したりして、小学生が活躍できるようにサポートしていました。そして時折、高校生がテクニックを見せると、小学生から歓声があがっていました。ゲームの合間には作戦タイムが設けられました。作戦タイムでは、高校生を中心に、どこから攻めたらよいか、誰がどこに動いたらよいか、などの細かい作戦が話合われていました。

授業の最初は、緊張している様子が見られた高校生たちも、小学生の元気に後押しされ、次第に大きな声で指

示を出しており、小学生がゴールを決めた後にはハイタッチをするなど積極的に関わっている様子が見られました。

授業の最後には、代表児童から感謝の言葉が述べられました。高校生に教えてもらって上手くなった、チームワークがよくなった、審判の仕方がわかったなどの感想だけでなく、高校生に憧れを抱いた、児玉高校に入りたいといった感想を述べる児童もいました。

授業終了後には、東京オリンピック・パラリンピックのフラッグを囲んで記念撮影を行いました。

6 授業の様子



【 挨拶 】



【 パス練習 】



【 ゲーム 】



【 作戦タイム 】



【 代表児童挨拶 】



【 集合写真 】